

粉じんばく露防止用の蓋を備えた粉末用容器

作業関連疾患予防学 安藤 肇

利用分野

飲食店等の粉末を扱う職場において導入しやすい簡便な粉じんばく露防止用の技術である。

シーズ

本発明は容器と蓋の間を密閉することにより、粉じん曝露を最小化する。容器の蓋の内部に排気の流路を設けることにより、容器の蓋の空気穴からの発じんを低減する。流路の長さや角度を工夫することで排気の流速を落として流路内で粉じんが落下する構造に特徴を有する。



ニーズ

粉末抹茶を容器に補充する作業では、粉末が飛散し作業者が誤って吸入する恐れがある。一般に粉じんの曝露防止対策として局所排気装置や呼吸用保護具があるが、飲食店等において大掛かりな対策を講じることは難しい。

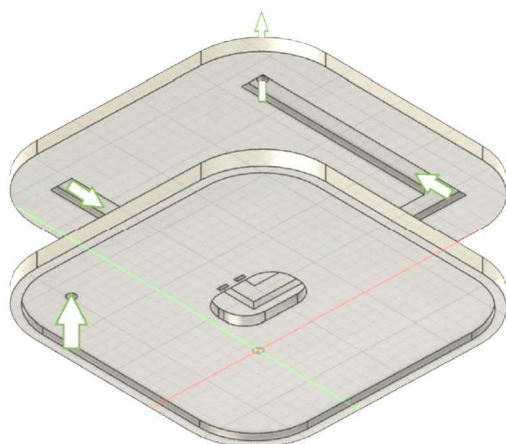


連携分野

粉じんばく露を防止するための粉末用容器の蓋の共同開発。

知財保護

特願2025-034230(未公開)



排気流路を設けた二重構造の蓋が特徴的。



本学マスコットキャラクター
ラマディー